



多久スポーツピア
リズムダンス



初心者の方も
大歓迎！
笑って、踊って、
仲間になりま
しょう。

「ダンスを明るく健康的に楽しみ、「リズム感が養えたり、姿勢がよくなったり、エクササイズにも効果的！一度見に来てください」と参加を呼び掛けるみなさん

音楽に合わせたダンスで豊かな表現を楽しむリズムダンスの仲間『スマイルスマイル』が毎週水曜日、市の体育センターで練習を重ねています。東多久町で活動していたサークルメンバーが、「広く市民のみなさんにも輪を広げよう」と昨年、スポーツピアに加入し、仲間を増やしているグループです。佐賀県リズムダンス研究会のインストラクター・岸川雅

子先生を講師に、演歌からポップスと幅広いレパートリーを持ち、7月8日は坂本冬美さんの『アジアの海賊』がメニューに追加。代表の川久保寿恵美さんは、「運動音痴だった私も踊れるようになり、たっぷりとかく汗は心地よく、心身ともにリフレッシュします」とお話で、今年は佐賀市文化会館での発表会に初参加。地域の祭や施設での披露も積極的です。

短歌

点滴が静かに落ちてかけめぐる 高齢われの生への誘い
わが家は四世代住む 大所帯 十二の部屋もすべて満杯
梅の花めでつ上る 梅林に 雨後の日差しのいま及びたり
それぞれの 駅に降り行く 同級生 西の果てなる 吾のみ残る
輝ける 日の交わりを 背に負いて それぞれにちがう 未来にあゆむ

田淵ミチ子
福島那智子
栗原 瑛子
本村 則子
尾形 節子

《麦の芽短歌会 五選》

俳句

遠き日の 純愛偲ぶ 白餅
天の句に届かぬあせり 梅雨に入る
孔子廟 風も光るや 夏木立
日峯さん カツバも待つてる 春祭り
浜木綿や 色白なりし 母の顔

不二見恵美子
野田キヌ子
松尾 孤杖
大坪 蒙仁
納富 芦風

《楷樹句会 五選》

川柳

悪口を肴に飲んで 二日酔い
介護の手しばし 休める 梅雨の庭
しみじみと 棚田に 父母の 声を聞く
八十路でも 女はおんな 紅をひく
シルバーを 少女に させる フラダンス

松下 修
大谷 和
高塚チカ子
木下 ユキ
猪ノ口昭子

《多久川柳会 五選》

「同和問題は心の差別」といいます。私たちの心の中にある思い込みが、偏見にも繋がります。「私は差別をしたこともないし、これから先も差別はしない」「同和問題って昔の話でしょ？今更いろいろ言わない方がいいのでは？」などと聞くことがあります。そつとしておけば差別はなくなるのではありませんか。そつとしておいて差別が解消するものならばとつくの昔に部落差別はなくなっているはずだと思いませんか？

No. 148
人権教育
と生ます
「心の差別」

「人の足を踏んだことはわからなくても、踏まれた自分はとても痛い」
誰かの人権が侵害されているということは自分も侵される可能性があるという事です。自分とは関係ないという態度では差別は社会からなくなりません。
すべての人々が幸せに暮らせる日がくるまで差別をなくす努力を続けていきたいと思います。

市民意識調査では、同和問題について、

「近所や知り合いから聞いて知った」とする回答が多くありました。その情報でもし誤ったものだったら・・・誤った情報が社会に広まってしまふことになりまふ。これでは差別の解消にならないばかりか、むしろ差別を助長することにもなりかねません。

差別は人によってつくられたものです。それならば人によってなくすこともできるのではないのでしょうか。

社会教育指導員 野中久美子